

ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障

東京大学先端技術研究センター専任講師
小泉 悠

- *利益のない戦争
- *異様なプーチン論文
- *レーニンの時限爆弾
- *プーチンの言いがかり
- *悲願のルーシ再統一
- *砕かれた目論見
- *訪れた転機
- *最新情報はツイッターから
- *クーデターが成功しないロシア
- *膠着が続く可能性



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、ロシアの専門家であります小泉先生
においていただきました。1982年のお生まれで、早稲田大学をご卒業後、民間企業の勤務等を経て、現在は東大先端科学技術センターの専任講師をされておられます。

ご存じのように、ここではもう何回かおいで
いただいておりますが、今年の2月以降、ロシア
の軍事問題、安全保障問題のたいへん貴重な専
門家ということで、テレビ等でもあちこちにお
出になっておられます。やっと今回、おいで
いただくことになりました。

戦局も大分動いているようでございますので、
今日は、どうしてこういうことになったのか、
そして、これからどうなるかということについ

て専門のお立場から明快なお話がお聞きできる
のではないかと思っております。

それでは、小泉先生、よろしく願います。
（拍手）

利益のない戦争

小泉 皆さん、どうもこんにちは。ただいま
ご紹介にあずかりました東大先端研の小泉です。
前回お話しさせていただきましたのが去年の4月
ということですので、ほぼ1年半ぶりです。1
年半たつ間に、何と言っても、ロシアが本当に
戦争を始めてしまったというところがたいへん
大きな展開でした。ロシア専門家たちも戸惑っ
ておられますし、ロシアという国をどう位置づけ
るかをめぐって、ロシア専門家の中に結構溝が